

白隱慧鶴《七福神図》(部分) 延享-宝暦前期(1744-53)頃 佐野美術館蔵

## 稀代の刀装具コレクション!

豊の華—光村コレクションの刀装具—

2018.4.7[土]—5.20[日]



重要文化財 横谷宗珉《睡布袋図自賞》江戸時代 個人蔵  
松尾月山《鍾馗鬼図大小鐔》(部分)江戸～明治時代 根津美術館蔵

明 治から昭和にかけて、3,000点もの

刀剣・刀装具を蒐集したという光村利藻コレクションから、その魅力をご紹介します。刀装具とは、日本刀の柄(外装)に付けられた、鍔・小柄・笄・目貫・緑頭などの金具のことです。初めは柄の強度を上げるなど、実用性を高める為の金具でしたが、次第に多彩な金属の色やモチーフが用いられ、時に「掌上の小宇宙」といわれる独自の世界が生み出されました。

「豊」は、刀装具の加工に用いる鑄を指します。その技術の粹をもって生み出された刀装具の名品、その華麗で優美な世界を一言で表現した言葉が、「豊の華」です。光村が情熱を注ぎ刊行した刀装具の名著『豊廻花』から、展覧会タイトルとしました。

眠りこける布袋さまと、届託なく

笑う布袋さま。いずれも最大幅2.3cmの小さな空間に、爪や関節までが表現されています。

光村利藻の功績のひとつに、柄に用いられる金具を作成する装劍金工や刀匠に積極的に制作を依頼し、その技術を守り伝えようと尽力したことがあります。

金具を加納夏雄、鞘塗を柴田是真に注文した合口柄は、柄全体を夜の海辺に見立てています。柄には闇の中岩場に潜むカニ、鞘には波間に漂う葦、笄には水面に映る朧月。ともに各分野で第一号の帝室技芸員となった幕末明治を代表する名工の合作です。

他にも海野勝眠、荒木東明など、名だたる名工達が遊び心たっぷりに技を競い合った刀装具の数々を、ぜひご堪能ください。

(学芸グループ 志田理子)



## 地獄と寿と、白隠さん

白隠禪師250年遠諱記念展  
駿河の白隠さん  
2018.5.26[土]—7.1[日]

の深い筆あとを、是非ご覧下さい。  
(学芸グループ主任 河内えり子)



左／白隠慧鶴《蓮池觀音圖》明和4年(1767) 佐野美術館蔵  
右／白隠慧鶴《大黒天圖》明和前期(1764-68)頃 個人蔵

## ミュージアムショップ

佐野美術館 オリジナルクリアファイル「鍔」 216円(税込)  
当館所蔵の鍔のクリアファイルです。



佐野美術館×日本橋棟原

蛇腹便箋レターセット「鍔」 800円(税込)  
老舗和紙舗の日本橋棟原から  
当館所蔵の鍔のシルエットが美しい  
レターセットが出来ました。  
お好きなところで切り取れるので  
一筆箋にも、長いお手紙にもお使い頂けます。

「豊の華」展に合わせたグッズのご紹介です。

\*「豊の華」展会期中(4/7~5/20)のみの販売です。

日本橋棟原

ちいさな蛇腹便箋 各 540円(税込)  
蛇腹便箋の手のひらサイズ版です。  
マッチ箱のような箱の中に  
便箋一巻とばち袋5枚が収められています。  
ちょっとしたメッセージカードにもなります。



Vixen

マルチモノキュラー(4倍) 8,537円(税込)  
刀剣・刀装具の細部まで見ることが出来る、  
小型軽量の便利なアイテムです。

バハリ

コインケース  
各 19,440円(税込)  
古来より刀装に使用してきた  
鮫皮(エイ皮)で作られた  
コインケースです。



府川一則《群盲評象図鍔》  
明治37年(1904) 根津美術館蔵